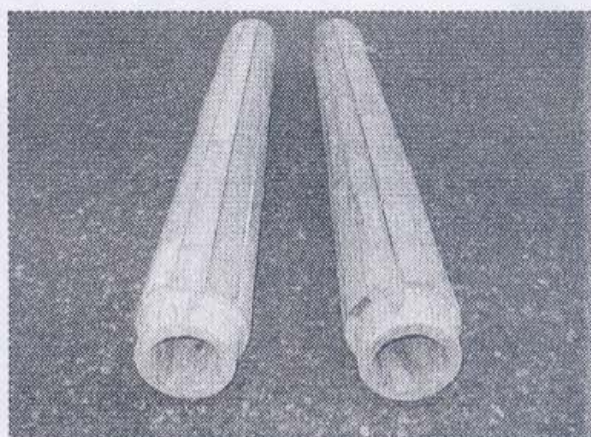


豊富な竹活用、環境に優しい製品

竹を使った多自然型環境資材を扱う(株)ソフトウェアは、竹ソダロールと竹ソダパネルを開発した。いずれも環境に優しい製品で県の18年度トライアル発注制度の製品に取り上げられ、いずれも高い評価を受けた。

竹の生産量が日本一の本県にあって、竹林の荒廃が目だってきた。ここに目をつけたのが同社で、豊富な竹と間伐材の杉を使って作ったのが、鹿児島で古くから活用されてきた竹そだを使った暗渠用のロール。通常使用している塩化ビニール管と同等の効果があり、長持ちし、しかも廃棄時にも産廃などの問題が発生しない。県内をはじめ沖縄、福岡などで耕地整備や林道整備に採用されている。



竹を利用した暗渠用管・土留柵工の竹ソダロール

また竹ソダパネル（防風垣・防砂垣）も、捨てられる竹枝を活用し、砂浜などに用いられる。強風の吹く場所では風速を弱める効果があり、



防風目的にマリンポートに設置された竹ソダパネル

吹上浜などで採用されている。また最近オープンした鹿児島市のマリンポートの北側にも風を防ぎ、花などの植物を守る目的に設置され、同島を訪れる見学者の目を楽しませている。

問い合わせは、(株)ソフトウェア（鹿児島市常盤2丁目14の7、☎099・284・8212）まで。